●排気系

排気系では軽量化と外観向上を図るとともに、新しいゴールドウイングに相応しいエキゾーストサウンド実現のため、マフラーからエキゾーストパイプに至るまでの一連の構造を新設計することで音質をマネジメントしました。

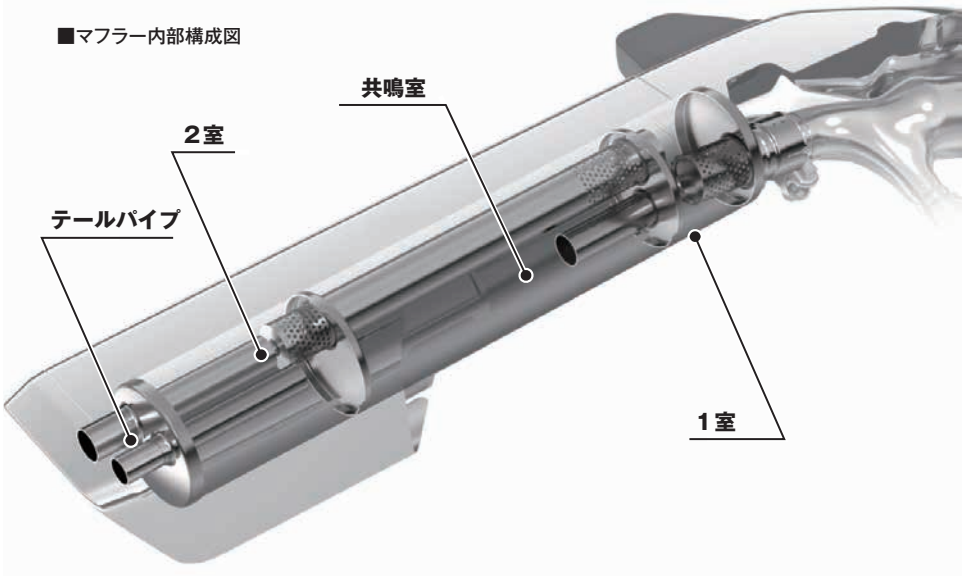
マフラー内部は、2室＋音の減衰を図る共鳴室による構成とし、サイレンサー内部に使用していたグラスウールを廃止して軽量化を図るとともに、完成車のスタイルとのマッチングを一層高めたクローム仕上げ※の異形断面カバーを採用。熱によるクローム変色を抑制し、外観性を向上させました。

※Gold Wing Tour Dual Clutch Transmission〈AIRBAG〉/Gold Wing Tour

■エキゾーストパイプ、マフラー構成図

音質は、F6エンジンから生み出される重低音とともに、“息遣い”を通して乗り手に一層操作しているという実感を提供するため、鼓動感を演出しました。

左右２本出しのマフラー内部に持たせた共鳴室の容量やパイプ径、長さのチューニングにより、過度な音量を抑えながら重厚な印象の低音を実現しました。また、エキゾーストパイプ断面積を、6気筒のうち2気筒のみ約20％減少させることで、気筒間の音量を変化させてモーターサイクルらしい鼓動感を演出。さらに、高い圧力をもった排気を直接テールパイプに導く構造により、燃焼と連動した音の歯切れのよさを実現しました。

これらにより、重厚さと鼓動感を備えた、走り出しからクルージングまで楽しめる魅力的なサウンドを作り込みました。

■マフラー内部構成図